科目名	応用英語	普通科必修 3年次・2単位
目標	外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて速く正確に理解をし，それらの知識を，目的や場面，状況などに応じて活用できる技能を養うことを目標とする。	
位置づけ	英語表現ですでに学んだ事項を活かし,文法事項や語彙の知識を振り返りながら，英語力 CEFR、A2～B1 程度の聞き取る力や、英語の文章で論理的に表現できるようになるための位置づけである。	

■使用する教材

・Listening Coach〈Training Stage〉と〈Final Stage〉
・四訂版 入試必携 英作文 Write to the Point

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

・リスニング教材で情報の聞き取りをできるようにする。特に復習において聞き取れなかった箇所に関して、音声教材を用いて復習をする。
・英作文教材は、辞書等の補助がない状態で、まず表現をしてみる。その上で、更に学ぶべき知識や、文法活用能力を中心に、定着、活用できるまで復習をする。

■学習する単元とおおよその時期

・英作文 Les.1~4　【4,5 月】
・英作文 Les.5~9　【6,7,8 月】
・英作文 Les.10~17【9,10,11 月】
・英作文 Les.18　【12 月】
・共通テスト L 演習【12 月】
・リスニング教材　【通年】

■観点別評価について

観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を十分に身に着けている。	・日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考え等の概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	B	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解している。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能の一部を身に着けている。	・日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考え等の概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを理解したり，これらを活用して表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	C	上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面		定期考査，小テスト等	定期考査，初出の表現事項	授業中での取り組む姿勢